

令和 7 年 6 月 川口市議会定例会

市長の所信と報告

川 口 市

本日、6月市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変ご多用の中、ご健勝にてご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

提案理由の説明に先立ちまして、お許しをいただき、所信と市政に関する報告を申し述べたいと存じます。

はじめに、川口駅周辺の再整備についてであります。

私は、先日、JR東日本と最終的な合意に至り、4月24日に「川口駅上野東京ラインホーム及び自由通路等整備に関する基本協定」を締結し、川口市の玄関口である川口駅周辺のまちづくりが未来へ向け大きな一歩を踏み出したところであります。

これに先立ち、川口駅周辺では、令和4年に「川口駅周辺まちづくりビジョン」を策定し、未来に向けて、働き、憩い、文化・芸術に親しめるまちづくりに取り組んでいるところであります。

こうしたビジョンに基づく再整備を進めることにより、西口には、駅至近の川口総合文化センター・リリアと川口市立美術館が核となり、自然に親しむことができる希少な駅前大規模公園である川口西公園と相まって心豊かで質の高い暮らしを実感できる文化・芸術エリアが広がり、東口には、地域に根付いた商店街をはじめ、旧そごう川口店跡地にオープンした市民待望の「ららテラス川口」等の商業施設がこのエリアに賑わいを呼び、それらのエリアをペデストリアンデッキが結び回遊性を高め、今般協定を締結した川口駅への中距離電車の停車が実現し、駅に降り立つ人々の大きな流れが加わり活気が満ちあふれ、人々がウォーカブルなまちを楽しむ未来の川口駅周辺の姿を描いております。

私は、川口駅周辺で生まれた活気や賑わいが様々な魅力やポテンシャルを持つ

市域全体へと波及し、誰もが「住みたいまち」、「住み続けたいまち」として認識され、川口のまちの発展を市民の皆さんに十分に享受できるものと確信しているところであります。

今後も、川口市が発展し続けるための原動力となる川口駅への中距離電車の停車などの様々なまちづくり施策を、引き続きスピード感を持って推し進め、「さらなる選ばれるまち川口」を目指し最後まで全力で取り組んで参る所存であります。

それでは、市政に関して、数点ご報告申し上げます。

第1点は、3大プロジェクトについてであります。

まず、赤山歴史自然公園整備事業についてであります。

赤山歴史自然公園整備事業につきましては、平成30年4月に市営の火葬施設「川口市めぐりの森」の開設と併せて、歴史自然資料館や子どもたちに大人気の屋外大型遊具「フワフワドーム」などを整備した「イイナパーク川口」を先行開園いたしました。

さらに、このイイナパーク川口には、子どもたちが豊かな自然を体験できる環境学習の場である雑木林や水辺の整備を進め、令和4年4月には首都高速道路初となる「川口ハイウェイオアシス」のオープンを迎える全面開園となり、現在は市内外から多くの方が訪れる川口の名所の一つとなっているところであります。

去る5月17日、18日に開催した「イイナパーク春祭り2025」には、初日の悪天候にもかかわらず、2日間で15,000の方にご来園いただき賑わいを見せ、音楽イベントや生物観察会、ベゴマ大会においしいグルメなど、子どもたちの笑顔が至る所であふれ、私自身も大変うれしく感じた次第であります。

今後も、川口の自然環境の保全に努め、春祭りの開催や子どもたちが生きものと触れ合い体験する「夜のいきもの観察会」などを継続的に実施し、豊かな自然環境を活かした賑わいの創出に取り組んで参ります。

次に、川口市立高等学校についてであります。

市立高等学校 3 校を統合し、平成 30 年 4 月に開校した川口市立高等学校は、「文武両道」を基本理念として、「未来を創るしなやかでたくましい人材の育成」を教育目標に掲げ、大学などとの相互連携による教科の枠を超えた学びや生徒の海外留学等によるグローバル教育など、生徒の多様な学習ニーズ等に対応した質の高い教育環境の充実に努めて参りました。

また、6 年間の一貫教育による特色ある教育活動を実施する附属中学校を令和 3 年 4 月に併設したほか、文部科学省から「スーパー・サイエンス・ハイスクール」の指定を受けるなど、先進的な理数教育にも力を入れているところであります。

こうした取り組みにより、開校当初の平成 30 年度は、国公立大学や難関私立大学の合格者数は 61 人、大学進学率は 57.7 % でしたが、令和 6 年度の合格者数は 245 人、進学率は 88.0 % と大幅に増加しているほか、部活動においても多くの種目で全国大会等への出場を果たすなど、着実に成果を上げているところであります。

私は、川口市立高等学校で学んだ生徒が個性豊かに大きく未来にはばたき、各方面で活躍できるよう、引き続き、生徒一人ひとりの希望に幅広く対応できる教育環境の充実強化に努めて参ります。

次に、新庁舎建設事業についてであります。

新庁舎建設事業につきましては、令和2年5月に第一本庁舎が開庁し立体駐車場の供用開始を経て、いよいよ最後となる第二本庁舎の建物が今月末に竣工し、災害に強く、環境にやさしい、誰もが利用しやすい川口市役所本庁舎が完成いたします。

この第二本庁舎には、来庁者用の託児室をはじめ、郵便局やカフェを設置するほか、市民の皆さんの利用頻度の高い窓口部署を低層階に集約するとともに、デジタル技術を活用した「書かない窓口」や「おくやみコーナー」を導入し、利便性の向上や業務の効率化を図り、質の高い市民サービスの提供に努めて参ります。

また、6階には多目的に利用できるラウンジを設置し、来庁する皆さんを見晴らしのよい眺望を楽しめる空間を提供するほか、職員も休憩場所などに利用して参ります。私は、これまで狭隘な旧庁舎で働く職員の姿に、効果的な事務執行のためにも執務環境の改善の必要性を強く感じていたことから、第一本庁舎に加え、この第二本庁舎の完成でさらに働きやすい職場環境も整えることができたものと考えております。併せて、大会議室においては、業務に支障のない週末など状況に応じて、市内の子どもたちの発表会や団体の演奏会等に活用することなども思案しているところであります。

第二本庁舎開庁へ向けてのスケジュールでありますが、7月27日に落成式を挙行し、議員の皆様や関係団体等の方々とともに新庁舎の完成をお祝いした後、市民の皆さんに新しい庁舎をご覧いただけるよう内覧会開催の準備を進めているところであります。さらに、各部署の移転を8月から順次行い、市民窓口部署や教育局を配置した第二本庁舎が9月に全面開庁いたします。その後、第一本庁舎の執務室の改修を行った上、鳩ヶ谷庁舎から建設部・都市計画部・都市整備部の

移転を済ませ、この2つの本庁舎で市民の皆さんのが手続きなどができるよう、年内に分散しております各部署の集約を完了させて参ります。

これをもって、3大プロジェクトが完結を迎えることは大変感慨深く、改めて、議員の皆様並びに市民の皆様のご理解とご協力に心から感謝と御礼を申し上げる次第であります。

第2点は、（仮称）神根総合運動公園についてであります。

私は、県議会議員時代はもとより、市長就任後も川口市への屋内50m水泳場の誘致に精力的に取り組んで参りました。積極的な活動が実を結び、県施設の建設が実現し、本年3月には県の建設工事が開始されました。これに続き、川口市が整備する、県施設と意匠を合わせた北スポーツセンター及び神根西公民館を含めた公園全体の一体的な整備に着手することができました。

こうした中、先月13日に大野知事らとともに現地を視察し、神根の豊かな緑に囲まれた広々とした予定地を目の当たりにし、改めてこの大型プロジェクトが実現に向け始動していることを強く実感した次第であります。

これら県と市の施設は1階部分で接続し、相互利用が可能な配置となっており、利用者の利便性を考慮した一体的な建築物として整備することに加え、公園敷地の北側にはナイター利用が可能な人工芝のグラウンドをはじめ、幅広い競技に活用できる屋外運動施設等も整備して参ります。

私は、（仮称）神根総合運動公園が多様な世代が集う新たなスポーツの拠点として、市民の皆さんのみならず市外の方からも愛される施設となり、さらには、雨水貯留施設や避難所機能も有する地域の防災拠点として、市民の安全・安心を守る大きな役割を担うことも期待しており、令和9年7月の供用開始を目指し、

県と連携を図りながら、着実に整備を進めて参る所存であります。

さて、今回提案いたしました議案は、予算議案3件、条例等の一般議案44件であります。

予算議案につきましては、一般会計において、済生会川口総合病院施設整備費補助事業等に係る5億4,706万7千円の補正を、また特別会計では、国民健康保険事業特別会計をはじめ2会計において、1億3,128万8千円の補正をそれぞれお願いするものであります。

次に、一般議案ですが、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例」など、条例議案10件、契約議案8件、財産の取得議案7件、訴えの提起議案8件、専決処分の承認議案5件、公の施設の指定管理者の指定議案2件、人事議案4件であります。

それぞれの議案内容につきましては、この後、副市長から説明を申し上げますので、慎重にご審議を賜り、ご可決下さいますようお願いを申し上げる次第であります。